

# 物価高騰に対する緊急要望！ 補正予算に組み込まれました

- ◆高齢者支援、75歳以上の高齢者1人につき1千円
- ◆住民税非課税世帯及び家計急変世帯、1世帯あたり3万円
- ◆エアコン・冷蔵庫への買い替え支援、2万・4万円補助
- ◆小中義務教育学校の給食費支援として、2ヶ月分無償
- ◆学校給食費の物価高騰分支援、30円×121食分
- ◆農業経営者支援 農業収入に応じて、5～40万円
- ◆障害福祉関連施設に3～12万円
- ◆商店街支援 商店会に20万円・会員5万円
- ◆介護事業支援事業として、事業所あたり7～21万円



公明党では無料の法律相談を行っております  
お申し込み、その他、ご相談・ご要望は

くりばら

まで

電話は 090-3476-6526



小さな声を、聴く力。公明党

春日部市議会議員くりばら信司



くりばら通信



令和5年6月度の定例議会閉会しました。今議会では春日部市議会初の女性議長が誕生しました。春日部市では慣習により1年間の任期となりますが、新庁舎の完成も間近だったり、鉄道高架事業なども大きな事業も目白押し。それぞれ順調に進んでおりますが、市議団としても心1つに支えていきたいと思っております。

今後とも変わらぬご支援を宜しくお願いします。

# 令和5年6月度定例議会・一般質問より

## ①：青パトの運営方法の強化拡充を！

**問** 青パトは、17年前に取り上げ、当時約200台の公用車が市内を走り回っており、これに青色回転灯をつけ防犯活動に有効と訴え、市は2台、4台と増車し、現在では19台の青パトが自治会などのご協力を頂き運営されています。これに関し町会長さんから『青パトを運転するには講習を受ける必要があるにもかかわらず、1年交替の町会役員が多いことから、折角講習を受けても、町会の役員を離れる際に、青パトからも離れる市民が多く、もったいない』との声があり、その対策を求めました。

**答** 市としては広報誌や講習会などを通じて継続の必要性を訴えます。



## ②：AYA世代のがん患者へ在宅療養支援を！

**問** AYA世代とは簡単に言えば15～39歳の若者世代を指します。本来なら夢と希望に溢れ活力のある世代の方達が突然のがん宣告を受けた場合、がんに対する医療行為そのものの保険適用はあるものの、医療行為を終え、在宅療法に切り替わった場合、介護などの公的支援は受けられません。この世代の女性は妊娠、出産、育児、職場復帰への準備など、AYA世代の抱える課題は計り知れません。そこで市としての早急な対応を求めました。

**答** 市としては、精神的負担、経済的負担などの軽減に向けて検討していきます。



## ③：MaaSの導入について

**問** 複数の公共交通を最適に組み合わせるMaaSの考え方を導入することで、現在進行中の新たな町づくりや歩行が困難な市民への補助手段としても有効であり、早急に取り組む事を訴えました。

**答** 次世代モビリティ、自動運転バスの導入など、地特性やニーズを的確に把握し検討していきます



## ④：まちづくりにはイメージを明確に！

**問** 埼玉県と連携し、春日部版スーパーシティプロジェクトを進めています。新しい町づくりは市民と一体となることが重要と思います。わかりやすいイメージを市民に提供することが大切。具体的な市の方針についてお伺いします。

**答** 魅力ある町づくりを目指し目標となるイメージを研究していきます。



## ⑤：学校給食費以外の支払い方法も統一を！

**問** 学校給食費の徴収に関する教職員の負担を減らすとの観点から公会計制度が始まりました。しかし、教材費やPTA会費など他の集金方法には変化がないことから、保護者や教員の負担を減らすためにも他の徴収方法も一括にするべきではないかと訴えました。

**答** 学校別に実情はありますが、今後徴収方法を検討します。

